

▶ 安定利益

2年以上の契約により確定している利益、及び安定性の高い事業の利益のこと。具体的にはドライバルク船、油送船、LNG船・海洋事業それぞれの中長期契約(2年以上)からの利益、及び関連事業、その他事業の利益を指す。

▶ イールドマネジメント

コンテナ輸送においては、コンテナ1本のラウンド(往復航海)当たりの収益を最大化するための管理手法を意味する。運賃ではなく、運賃から直接コストを引いたネットプロシード(粗利)が最大になるように運賃設定と営業を行うこと。直接コストには、積み揚げ費・接続輸送費の他に空コンテナ回送費(コンテナ過不足の状況を反映して算出)も大きな要素の一つとして含まれる。

▶ エタン船

エタンは天然ガスの中でメタンの次に多く含まれる成分で、含有量はガス田によるものの5~20%程度。体積当たりの発熱量はメタンの約1.75倍で、常温・大気圧下では気体。現在は主に重要な基礎化学品であるエチレンの精製原料として利用されている。エタン船は再液化装置を搭載した液化エタン輸送の専用船を指し、約マイナス92度の液化エタンを輸送する。LNG船が約マイナス162度、LPG船が約マイナス42度の貨物を想定しているのに対して、エタン船はいわば両者の中間に位置付けられる。

▶ 空船回航

貨物を積んでいない空の状態での次の積港に向けて航海すること。

▶ 市況エクスポージャー

中長期調達船で、2年以上の契約が付いていない船の割合。短期市況変動の影響を受ける。

▶ トンマイル

輸送量を見る場合に、重量だけでは輸送活動全般が把握しにくいいため、輸送トン数に輸送距離(マイル)を乗じたもの。船舶など輸送機関の活動量を表すために用いる単位。

▶ バラスト水

船舶が貨物を満載していない時に、姿勢を制御し安定させるために積載する海水。通常、貨物の揚げ荷役時にバラスト水を取り込み、積み荷役時に排出する。

▶ プール運航

海運会社(オペレーター)や船主(オーナー)が船舶を持ち寄り、共同運航すること。

▶ FPSO(Floating Production, Storage and Offloading system)

浮体式海洋石油生産・貯蔵・積出設備。洋上で石油を生産し、生産した原油を設備内のタンクに貯蔵して、直接輸送用タンカーへと積出を行う設備のこと。



海洋事業FPSO「Cidade de Angra dos Reis MV22」
(写真提供: 三井海洋開発)

▶ FSRU(Floating Storage and Re-gasification Unit)

浮体式LNG貯蔵・再ガス化ユニット。洋上でLNGを貯蔵し、気化(再ガス化)して陸上パイプラインへ払い出す設備のこと。従来の陸上受入基地に比べ低コスト、かつ短期間に受入体制を整える有力なソリューションとして、世界各地で導入計画が進んでいる。



海洋事業FSRU(イメージ図)(写真提供: ENGIE社)

▶ RORO(Roll-on/Roll-off)船

フェリーのようにランプウェイを備え、トラックやトレーラーなどの車両を収納する車両甲板を持つ船。クレーンなどの荷役機器を使わず、貨物である車両が自走して荷役を行う。一般的にフェリーが貨物車両に加えて旅客・自家用車も輸送するのにに対し、RORO船は貨物車両をメインに輸送する。